

解説

# プレキャスト製品業界と外国人労働者対応

まえた なおゆき  
前田 直之

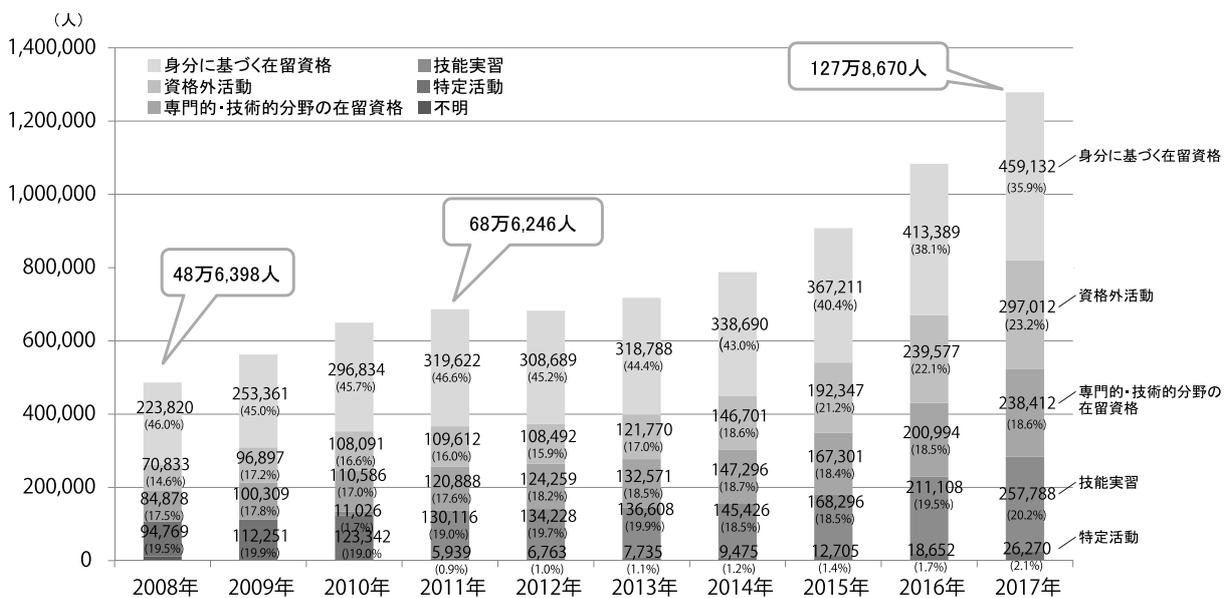
(一社)全国コンクリート製品協会  
理事・総務委員長

## 1 はじめに

先日、羽田空港にあるコンビニで買い物をするために立ち寄ったところ、レジ打ちする店員の半数が外国人アルバイトだった。見たところ国籍も様々で「さすが羽田空港」と感心したのだが、すでに都内のコンビニや飲食店では珍しくない光景であることに気がついた。おそらく留学生として日本にきている人たちが多いのだろうと思いつつも、どのような在留資格で日本に滞在しているの

かに興味を持ち、早速調べてみた。現在、日本に滞在する外国人は約256万人で増加傾向にあり、そのうち日本国内で働く外国人はその半数にあたる約128万人で、2008年からの9年間で約2.6倍に急増しているらしい(図-1)。

2017年では、その約128万人の外国人労働者を在留資格別の割合で見ると、就労を目的として在留が認められる、いわゆる「専門的・技術的分野での在留資格者」は約2割(18.6%)の24万人だという。残り約8割



※ 厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめに基づく集計(各年10月末現在の統計)(一部追加)

図-1 我が国における外国人労働者数の推移

